

# 米国政治思想から見た トランプ大統領の評価と未来

東洋英和女学院大学客員教授 中岡 望



- \* 小説のようなコミーFBI長官のメモ
- \* アメリカは政策の非継続的な民主国家
- \* 今や保守、リベラルは会話不能状態
- \* ポピュリズムとアメリカ政治の関係
- \* トランプのポピュリズムとは何か
- \* 極右勢力はどう影響しているか
- \* 明確な政策理念が見当たらない
- \* 共和党に深く浸透する宗教勢力
- \* トランプ登場で加速したアメリカの分裂
- \* トランプの弾劾はあるのか

柴生田 それでは聞かいたします。（拍手）

今日はほぼ1年ぶりでございますが、中岡先生に来ていただきました。紹介の必要はないかと思いますが、東洋経済で記者をした後、フリーになり、そして現在は四つの大学で教えていらっしゃるというお話をございました。大学以外でもネットの世界では現在、アメリカ情報についておそらく第一人者であると言つていいと思います。日本にいて日本のものを読んでもアメリカのことはわかりませんので、そういう意味では最新の情報を生で見ていらっしゃる中岡先生のお話をきちんと聞く。それから大事なことは、現在何が起きているかを追いかけるだけではなくて、その事象がアメリカの思想史、政治史の中でどういう意味を持っているかということです。

## 小説のようなコミーFBI長官のメモ

中岡 今回の講演のタイトルは「米国政治思想から見たトランプ大統領の評価と未来」です。今週月曜日に、東洋経済オンラインに私が書いた記事がアップされました。コミーFBI長官

して、それがわからなくて末梢のことを追いかけても理解できないと思います。今日はまさにそういうお話を中岡先生にしていただくということで来ていただきました。

ですから、トランプが生まれた土壤、それからトランプを生み出したアメリカの土壤について、あるいはこれからどうなっていくかについて、今日はある意味で勉強させていただくということで、よろしくお願ひいたします。（拍手）